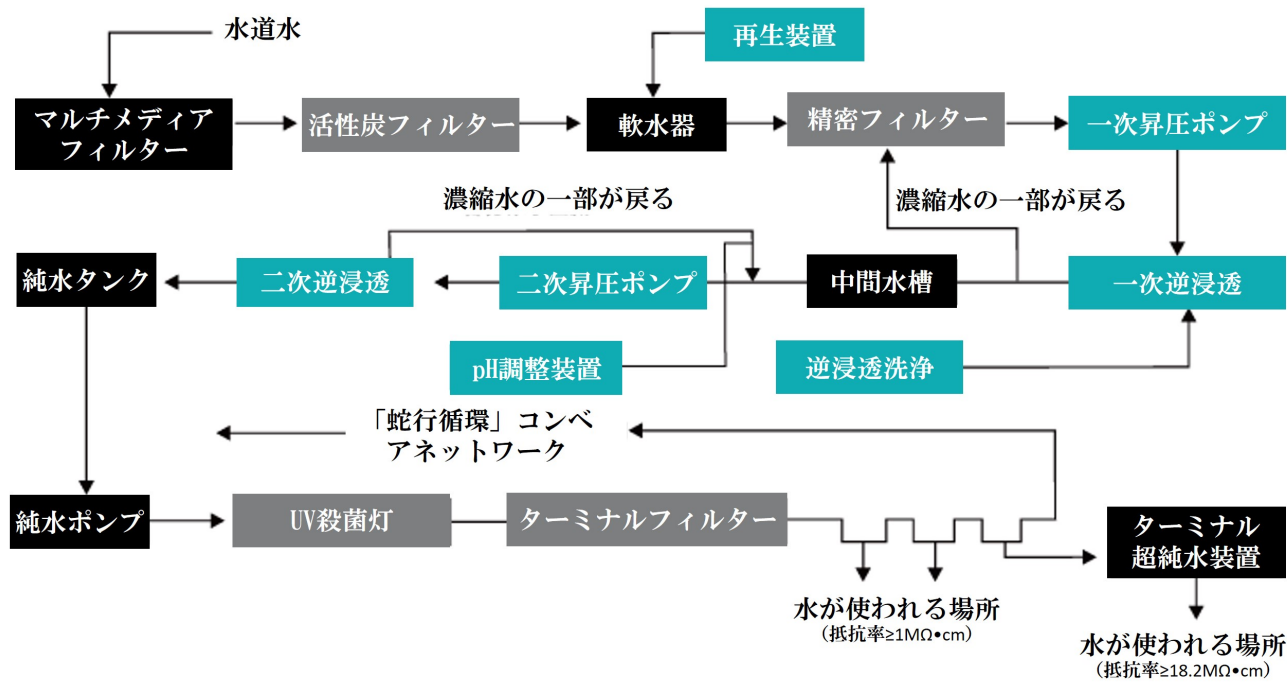




実験用純水システム

Purify Water System for Laboratory

プロセスフローチャート





実験用純水システムの概要

従来のモデルは、各研究室が小型の製水装置を使用して分散的に水を製造および供給するというものであり、この給水方法は徐々に廃止されます。現代の科学実験室の設計と建設では、実験棟では実験要件を満たすために水中の不純物を一定の場所で浄化し、複数の使用地点をパイプラインで接続して供給する集中給水方式が採用されています。純水——中央超純水システム。

水質において処理が必要な不純物

粒子状物質、コロイド物質、イオン性物質、未反応溶存ガス、微生物、熱源、有機物、残留消毒剤など



純水装置の特長

制御機能

- システムは完全に自動で動作し、水を継続的に生成します。
- 深部脱塩処理に特許技術を採用し、季節の変化により装置に流入する水質が変化するため、後処理の適応性を十分に考慮しています。システムの正常な動作を保証するために、自動制御モードと手動制御モードの両方があります。
- 前処理ユニットは水を自動的に生成し、定期的な洗浄、逆洗、すすぎを実行できます。
- 逆浸透装置にはRO膜スケール防止プログラム設計機能があり、RO膜を定期的に自動的にフラッシングします。
- システム機器にはオンラインの化学洗浄および消毒機能があります。

リモート管理・監視アップグレード機能を搭載（オプション）：

センサー、データライン、カメラ、コンピューターを有機的に組み合わせることができ、純水システム用の特別な管理および監視ソフトウェアを使用して、システムの運用、保守、検出、セキュリティ監視、記録、統計、および分析をすべてオフィスのコンピューターで実行できます。

表示機能

- 動作ステータスとパラメータには、導電率、抵抗、圧力、流量、その他の関連する水質データがオンラインでリアルタイムに表示されます。
- 水漏れ検知機能：システムが誤って漏れた場合、システムは自動的に検知し、同時に水道水を遮断し、水漏れによる実験室への影響を防ぎます。

安全機能

- 自動保護機能とアラーム機能があり、システムは連携を実現し、ローカルに問題が発生した場合、システムは自動的にシャットダウンします。
- 電源投入時の自己チェック、水不足保護アラーム、高電圧および低電圧の自動シャットダウン保護および処理。
- 自動保護機能、自動故障警報機能、断水・停電・過負荷などの異常時処理機能を搭載しています。

